

回折法による鉄鋼材料を中心とした金属材料の 力学的特性評価に関するシンポジウム

鉄鋼の力学特性を考察する際、転位や残留オーステナイト、集合組織の定量解析は欠かせない。X線回折法はそれらを簡便かつ定量的に取り扱う事ができるため、製造や研究の現場で利用されている。一方、その解析値の信頼性については、未だに議論されているのが現状である。近年、解析法、測定法に飛躍的な進展があり、力学特性を議論できる信頼ある転位密度解析、残留オーステナイト解析が実現された。身近な回折データから得られる情報の有効性を議論すると共に、放射光、中性子線の新たなマイクロ組織解析プローブの最先端に関して紹介、討論する。

開催日 平成 28 年 11 月 22 日 (火)

場所 東京都市大学 世田谷キャンパス 1 号館 3 階 13M 教室

東京都世田谷区玉堤 1-28-1, TEL(代表) : 03-5707-0104

(最寄駅 東急大井町線 尾山台駅 <http://www.tcu.ac.jp/access/index.html>)

主催 日本鉄鋼協会 評価・分析・解析部会 鉄関連材料のヘテロ構造・組織の解析研究フォーラム

日本鉄鋼協会 材料の組織と特性部会 材料の微視的集合組織の解析と制御自主フォーラム

共催 日本材料学会 X線材料強度部門委員会 ラインプロファイル解析小委員会

参加費 無料

申込み 当日受付も可能ですが、会場準備の都合上、事前にご連絡を頂けると幸いです。

連絡先 佐藤成男 (茨城大学) : shigeo.sato.ar@vc.ibaraki.ac.jp

熊谷正芳 (東京都市大学) : mkumagai@tcu.ac.jp

プログラム (敬称略)

座長 佐藤成男 (茨城大学 教授)

13:30 - 13:40 開会挨拶 熊谷正芳 (東京都市大学 講師)

13:40 - 14:20 「ラインプロファイル解析の歴史と材料学会における小委員会活動」

熊谷 正芳 (東京都市大学 講師)

14:20 - 15:00 「放射光 X 線回折法による負荷中転位密度評価」

菖蒲 敬久 (日本原子力研究開発機構 主任研究員)

15:00 - 15:15 一休憩

15:15 - 16:15 「高強度鉄鋼材料における強化機構の理解」

赤間 大地 (九州大学 特任助教)

16:15 - 16:55 「TOF 型中性子回折を用いた微細組織の統計的パラメータ解析」

小貫 祐介 (茨城大学 助教)

16:55 - 17:10 総合討論

17:10 - 17:15 閉会挨拶 鈴木茂 (東北大学 教授)

* 終了後、18 時頃より尾山台/自由が丘駅周辺で懇親会を予定しております。シンポジウムの参加と合わせて出欠をご連絡ください。